

第9期岡山県生涯学習審議会 第4回会議開催要項

日時 平成27年3月23日(月)
10:00～12:00
場所 ピュアリティまきび 飛鳥

1 開 会

2 議 事

- (1) 第3次岡山県生涯学習推進基本計画の成果と課題及び今後の施策の基本方向について
- (2) 平成27年度生涯学習課主要事業について
- (3) その他

3 閉 会

第9期岡山県生涯学習審議会委員名簿

【任期 平成25年8月1日～平成27年7月31日】

番号	氏名	役職名	選出分野	
1	赤澤 正基	岡山県子ども会連合会会長	青少年団体	
2	小川 孝雄	特定非営利活動法人岡山NPOセンター理事	NPO	副会長
3	加藤 馨子	岡山県立岡山工業高校PTA会長	PTA	
4	門野八洲雄	岡山県公民館連合会会長	社会教育施設	
5	河上 直美	NPO法人タブララサ理事長	NPO	
6	澤津まり子	就実短期大学准教授	大学(幼児教育)	
7	清水 玲子	(株)山陽新聞社編集局文化部部長	企業	
8	竹久 保	勝央町教育委員会教育長	市町村	
9	土屋 紀子	(社)岡山県婦人協議会会長	女性団体・社会教育関係団体	会長
10	檜本 真弓	読書ボランティア「たんぼぼの家」代表	民間団体	
11	藤木 茂彦	(株)丸五取締役	企業	
12	水嶋美知江	美咲町立加美小学校校長	学校	
13	三原 誠介	岡山県議会議員	県議会	
14	本山 康代	(社)岡山県専修学校各種学校振興会副会長	専修・各種学校	
15	山本 珠美	香川大学生涯学習教育研究センター准教授	大学(生涯学習)	

生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（抜粋）

（都道府県生涯学習審議会）

- 第10条 都道府県に、都道府県生涯学習審議会（以下「都道府県審議会」という。）を置くことができる。
- 2 都道府県審議会は、都道府県の教育委員会又は知事の諮問に応じ、当該都道府県の処理する事務に関し、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査審議する。
 - 3 都道府県審議会は、前項に規定する事項に関し必要と認める事項を当該都道府県の教育委員会又は知事に建議することができる。
 - 4 前3項に定めるもののほか、都道府県審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、条例で定める。

岡山県生涯学習審議会条例

（設置）

- 第1条 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（平成2年法律第71号）第10条第1項の規定により、岡山県生涯学習審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

- 第2条 審議会は、委員25人以内で組織する。

（委員）

- 第3条 委員は、生涯学習に関し識見を有する者のうちから、知事の意見を聴いて、教育委員会が任命する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

- 第4条 審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（専門委員）

- 第5条 審議会に、専門の事項を調査させるため必要があるときは、専門委員を置くことができる。

- 2 専門委員は、当該専門の事項に関し学識経験のある者のうちから、知事の意見を聴いて、教育委員会が任命する。
- 3 専門委員は、会長の命を受け、専門の事項を調査する。
- 4 専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

（部会）

- 第6条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員及び専門委員は、会長が指名する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によりこれを定める。
- 4 部会長は、部会の事務を掌理する。
- 5 部会長に事故があるときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

- 第7条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 前3項の規定は、部会に準用する。

（庶務）

- 第8条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において行う。

（その他）

- 第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、審議会が定める。

附則 この条例は、平成13年1月6日から施行する。

岡山県生涯学習審議会 議事運営等に関する申し合わせ事項

1 議事運営について

- (1) 会議は公開とする。ただし、会長が認めたときは非公開とすることができる。
- (2) 審議の経過及び結果の発表が必要な場合は、会長又は会長の指名する者が行う。
- (3) 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者等を招き、意見の開陳又は説明を求めることができる。

2 議事要旨について

- (1) 議事要旨は公開とし、後日県のホームページに掲載する。

岡山県生涯学習審議会 会議傍聴要領

岡山県生涯学習審議会会議は、「審議会等の設置及び運営等に関する指針」の趣旨に則り公開いたします。会議傍聴上の留意事項は次のとおりですので、よくお読みください。

1 会議の公開

会議は原則として公開ですが、会長が認めた場合は、非公開となります。

2 傍聴の手続

(1) 傍聴を希望される方は、開議前に傍聴受付簿に氏名、住所を記入しなければなりません。

(2) 傍聴人数に制限は設けませんが、会議室の制約上、傍聴をお断りすることがありますので御了承ください。

なお、報道関係者で会長が認めた場合は、定められた傍聴人数とは別に傍聴することができます。

3 傍聴できない方

傍聴人は、係員の指示に従い傍聴席に入場してください。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、傍聴することができません。

(1) 酒気を帯びていると認められる場合

(2) 会議の妨害となると認められるものを携帯している場合

(3) その他会議の公正又は円滑な運営を妨害するおそれがあると会長が認めた場合

4 傍聴される方に守っていただきたいこと

傍聴される方は、次のことをしてはいけません。

(1) みだりに傍聴席を離れること。

(2) 飲食すること。

(3) 私語、談話、拍手等を行うこと。

(4) 議事に批評を加え、又は意見を表明すること。

(5) 許可なく写真を撮影し、録音その他これらに類する行為を行うこと。

(6) 携帯電話用装置その他の無線通話装置を使用しないこと。

(7) その他会議の妨害となるような行為を行うこと。

5 違反に対する措置及び退場

上記に違反したときは、直ちにその行為を中止させますが、その命令に従わないときは、当該傍聴人を退場させます。

上記退場を命じられた場合や、会議を非公開とする議決があったときは、速やかに退場しなければなりません。

6 その他

上記のほか、会議の傍聴に関し、別に指示があったときは、それに従ってください。

第3次岡山県生涯学習推進基本計画の成果と課題

1 人がつながり地域社会に生かす「学び」

～学びの成果を生かして地域社会へ参加・参画する学習活動の促進～

① 地域に対する理解を深める学習機会の充実

【成果】

自分の地域よさや特色について学び、地域社会への関心を高め、地域課題への気付きや地域の魅力発見につながるように、様々な支援を行った。

- ・あるある公民館イニシアチブ事業の実施
- ・放課後子ども教室や学校支援地域本部におけるふるさと学習
- ・生涯学習大学や博物館講座、青少年教育施設等での「ふるさと岡山」のよさを学習する機会の提供

【課題】

- 公民館等において、大人と子どもが共に自分の地域について学び合い、地域を大切に思う気持ちをはぐくむ取組を、引き続き支援・啓発していくことが必要である。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
地域理解につながる学習を実施している公民館等の割合	100%	23.5%	46.4%	54.0%	45.7%

② 地域社会におけるつながりや支え合いを創り出す場・組織の充実

【成果】

学校を中心とした取組が全県的な広がりを見せ、住民相互のつながりを構築できた。また、様々な家庭教育支援を行い、安心して子育てができる環境づくりを推進した。

- ・放課後子ども教室等、地域ぐるみで子どもを育む教育の仕組みづくりの推進
- ・公立学校（国立は除く）において地域連携担当を校務分掌に位置づけ
- ・学校支援コーディネーター等、人材の育成による組織の充実
- ・「親育ち応援学習プログラム」の開発と家庭教育相談員の養成
- ・おかやま若者サポートステーションによる若者の自立支援
- ・コミュニティ活動推進事業

【課題】

- 公民館等を中心とした地域住民のつながりや支え合いを創り出す取組は十分とは言えず、充実に努めていく必要がある。
- 地域ぐるみで子どもを健やかにはぐくむ環境の整備を引き続き進める必要がある。
- 家庭教育の支援について、引き続き親同士の交流や学びの支援・相談、情報提供

など親の育ちを応援していく必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
地域の人材を学校で活用している公立小・中学校の割合	100%	63.0%	95.3%	100%	100%
放課後子ども教室の設置か所数 放課後児童クラブの設置か所数	200 か所 405 か所	166 か所 389 か所	170 か所 398 か所	170 か所 408 か所	218 か所 411 か所
家庭教育相談員の養成数	870 人	742 人	772 人	822 人	869 人

③ 地域社会に参加・参画するプログラムの充実

【成果】

できるだけ多くの県民が地域社会に参加・参画できるよう様々なプログラムの提供を行った。

- ・学生ボランティアの養成
- ・「親育ち応援学習プログラム」の実施
- ・生涯学習大学大学院コース、ももたろう未来塾による人材育成
- ・観光ボランティアの育成

【課題】

- 個人の学習の成果を地域社会に還元していく「知」の循環については、学校支援の場では一定の成果が得られているが、その他の地域課題の解決にも拡大していく必要がある。
- 若者や退職前後世代の「地域デビュー」の支援など、これからの地域社会の担い手が気軽に地域づくりに参加・参画できる取組のさらなる充実が必要である。
- 職業上持っている知識・スキルを生かして社会貢献する「プロボノ」など、現役世代の参加・参画を促す取組の推進が必要である。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
学生ボランティアの養成講座受講者数	100 人	60 人	112 人	163 人	210 人

④ 生涯学習コーディネーターの育成

【成果】

学校支援コーディネーターの養成等、地域と学校を結ぶ人材の養成・確保を行った。

- ・公立学校（国立は除く）において地域連携担当を校務分掌に位置づけ
- ・学校支援コーディネーターの養成
- ・生涯学習・社会教育関係職員への資質向上支援

【課題】

- 生涯学習の推進において社会教育主事の専門性は不可欠であり、市町村の関係職

員や地域連携担当の教職員などへ、社会教育主事講習の受講を一層促進する必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
今後5年間で社会教育主事講習を受講する教職員数	50人	10人	10人	18人	18人

⑤ 学習相談・情報提供の機能の充実

【成果】

公民館職員に対してホームページ作成やSNSの利用法を研修し、公民館情報の発信力を強化した。

- ・ ばるネット岡山による学習情報の提供
- ・ 公民館情報ネットワーク事業による情報発信力の強化
- ・ ライフプランセミナーの実施

【課題】

- 実際に活動しているNPO等民間団体の情報や、地域活動の事例について情報提供していく必要がある。
- ばるネット岡山による情報発信は今後も重要であり、一層の充実が求められる。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
ホームページで情報提供を行う公民館数	200	108	148	196	201
県立図書館のレファレンスデータベース登録事例数	4,800件	3,762件	3,981件	4172件	4358件

2 たくましく未来を切り拓く「学び」

～個々の県民が社会人として自立を目指す学習活動の支援～

① 青少年のキャリア形成への支援

【成果】

学校、家庭、地域、企業等が連携して社会全体で青少年の勤労観・職業観を育成するための取組を行った。また、様々な体験学習や多様な世代との交流体験を推進し、自らの能力を発揮しながら、社会生活を営めるよう支援を行った。

- ・ おかやま☆子ども参観日事業の推進
- ・ 小中学生による職業体験の実施
- ・ 第3次岡山県子ども読書活動推進計画の策定及びおもしろ読書事典の作成

- ・生きる力応援プラン「夢さがしの旅」による不登校傾向の児童生徒への支援
- ・「ジョブ支援員」や就労支援コーディネーターの配置による障害のある児童生徒へのキャリア教育の支援
- ・ものづくり体験事業の実施

【課題】

- 社会全体で青少年の勤労観・職業観の育成に取り組んでいくことは今後も重要である。
- 不登校やひきこもりといった若者の自立支援に引き続き取り組む必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
「子ども参観日」実施事業所数	50 か所	5 か所	17 か所	24 か所	49 か所
様々な体験学習に参加した青少年の数	133,000 人	124,580 人	124,375 人	129,846 人	137,337 人
職場体験活動を4～5日実施する公立中学校の数	50 校	22 校	76 校	82 校	80 校

② キャリアアップ・再チャレンジ等生涯を通じたキャリア形成への支援

【成果】

生涯を通じて個人のキャリア形成や学び直しの機会の充実を図るため、学び続ける環境の整備や、様々な立場の人たちへのキャリアアップ、再チャレンジの支援を行った。

- ・県立図書館とことん活用講座やビジネス支援
- ・おかやま若者就職支援センターやおかやま若者サポートステーションによる就労支援
- ・公民館等における職業等に関する学習の実施
- ・ひとり親家庭自立支援事業等の女性への支援
- ・放課後子ども教室等の高齢者への活躍の場の提供

【課題】

- 個人や地域の課題に対応できる学習機会や学習情報の提供に努めていくため、引き続き環境整備を進めていく必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
公民館等において職業等に関する学習を実施している時間数	1,620	1,828	2,613	3,977	3,322

3 個々が輝く「学び」

～県民だれもがニーズに応じて学ぶことができる取組の充実～

① 学習機会のユニバーサルデザイン化

【成果】

公民館等ではアウトリーチ型の講座を実施する等により、様々な理由で学習活動への参加が困難な県民に対しての支援の充実を行った。

- ・アウトリーチ型の学習支援の推進
- ・デジタル岡山大百科の拡充
- ・県立博物館「デジタルミュージアム」の充実
- ・環境出前講座の実施

【課題】

- 多様化するニーズに対応するため、誰もが学べる環境整備を引き続き進めていく必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
県生涯学習大学連携講座数	650 講座	594 講座	579 講座	580 講座	926 講座
社会教育施設、団体等による出前型 (アウトリーチ型) 講座数	100 講座	114 講座	108 講座	159 講座	149 講座

② 多様な個性・能力の伸長の支援

【成果】

子どもから高齢者まで幅広い層の県民が、性別や年齢、障害の有無などに関係なく、主体的に学ぶことのできる環境の充実を図った。

- ・県生涯学習大学連携講座の充実
- ・県立図書館のユニバーサルデザインの視点に立った取組の推進
- ・総合型地域スポーツクラブの充実
- ・「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーンの推進
- ・第25回国文化祭「あっ晴れおかやま国文祭」の開催

【課題】

- 県民の学習内容に関するニーズも年々変化しており、学習のしかたや学習活動への意識も変化しているため、引き続き環境整備を進めていく必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
県民が1年間に公立図書館から借りた本の数	1,300万冊	1,216万冊	1,246万冊	1,250万冊	1,252万冊
公的な生涯学習講座への参加者数	1,300,000人	1,291,925人	1,311,555人	1,370,123人	1,388,869人
総合型地域スポーツクラブ会員数	10,000人	8,583人	10,079人	10,076人	10,887人

4 多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」

～社会を構成する多様な主体との連携・協働による取組の充実～

① 多様な主体との連携・協働による取組の推進

【成果】

大学や企業、NPO等の団体、個人といった多様な主体との連携・協働により、学校教育等を支援する取組が進んだ。

- ・おかもやま子ども応援センターの設置（子ども応援人材バンク、メニューフェア）
- ・県立図書館とことん活用講座、県立図書館・放送大学連携講座の実施
- ・おかもやま子ども参観日事業の周知・拡大
- ・大学コンソーシアム岡山との連携による事業の実施

【課題】

- 学習機会や内容の充実とともに、地域課題の解決等に向けた活動への参加・参画を促進するため、公民館等が多様な主体と一層連携・協働することが必要である。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
企業、団体等への学習機会の提供数	100回	7回	14回	20回	27回
学生ボランティア養成講座受講者数（再掲）	100人	60人	112人	163人	210人

② 生涯学習推進体制の充実

【成果】

社会の変化に対応し、個人や社会全体の新たなニーズにこたえられるよう体制の充実を図った。

- ・市町村社会教育委員の研修や情報交換の機会を設定
- ・生涯学習推進のための基本計画策定について市町村へ働きかけ
- ・市町村の社会教育関係職員を対象とした研修の実施

【課題】

- 社会教育主事の重要性・必要性が、首長を含め地域の中で必ずしも十分理解されていない面もあり、社会教育主事の配置を促す等、市町村の体制の充実を一層図る必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
今後5年間で社会教育主事講習を受講する人数	120人	36人	39人	74人	77人
市町村において生涯学習推進のための基本計画等を策定している市町村の割合	50%	29.6%	33.3%	48.1%	59.3%

③ 生涯学習関連施設の機能充実**(1) 県生涯学習センター****【成果】**

県の生涯学習推進の拠点施設として、多様な主体との連携による学習講座の開設、行政職員や地域人材を対象とした資質向上のための研修会を実施するなど、全県的な生涯学習の推進を図った。

- ・ 学生ボランティアの養成
- ・ 公民館相互の情報ネットワークの支援
- ・ 生涯学習大学の実施
- ・ 「人と科学の未来館サイピア」の開館
- ・ JAXA（宇宙航空研究開発機構）との連携事業の実施
- ・ 市町村の関係職員への研修実施

【課題】

- 生涯学習指導者等の地域人材育成に向けた実践的な研修のや、調査・研究及び情報発信について、一層の機能強化が必要である。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
県生涯学習センターにおける施設利用者数	125,000人	132,048人	132,357人	133,164人	159,507人
今後5年間の指導者研修事業への参加者数	3,000人	605人	1,476人	2,943人	3,820人

(2) 県立図書館**【成果】**

県民のレファレンス機能の活用を促すとともに、市町村立図書館の支援等を行った。また、県立博物館と連携した企画を行うなど他の主体との連携を推進した。

- ・ 県立図書館ボランティアスキルアップ講座
- ・ 県内公立図書館との相互貸出
- ・ レファレンスサービスの拡充
- ・ デジタル岡山大百科の充実

【課題】

- 県立図書館は、県全域の図書館の中核として、幅広い資料の収集、レファレンスサービスの充実、市町村立図書館の支援や図書館ネットワークの推進等に引き続き取り組む必要がある。

目標とする指標	目標値	H22	H23	H24	H25
県立図書館における児童書の蔵書冊数	160,000冊	119,512冊	128,413冊	136,318冊	144,153冊

(3) 社会教育施設（公民館、図書館、博物館等）**【成果】**

各施設で地域性や特性を生かして学習機会や活動の場の提供を行った。

- ・あるある公民館イニシアチブ事業の実施
- ・アウトリーチ型の学習支援の推進
- ・社会教育施設職員を対象とした研修の実施

【課題】

- 公民館等における地域の課題解決や魅力あるまちづくりが、持続的な取組に発展していくように、ESDの視点に立った取組を促進する必要がある。
- 学びを活動へつなぐコーディネート機能を高めていくことが、引き続き必要である。

次期岡山県教育振興基本計画へ盛り込む内容（案）

第3次岡山県生涯学習推進基本計画から引き継ぐ課題 A	第3次計画策定時以後に生じた課題 B	課題の番号		次期岡山県教育振興基本計画に盛り込む内容	
		A	B	施策の基本方向	概要
<p>1 人がつながり地域社会に生かす「学び」</p> <p>① 地域に対する理解を深める学習機会の充実が引き続き必要である。</p> <p>②-a 公民館等を中心とした地域住民のつながりや支え合いを創り出す取組が十分ではない。</p> <p>②-b 地域ぐるみで子どもを健やかに育む環境の整備を引き続き進める必要がある。</p> <p>②-c 家庭教育の支援について、引き続き親の育ちを応援していく必要がある。</p> <p>③-a 「知」の循環を、学校支援の場以外にも拡大していく必要がある。</p> <p>③-b これからの地域社会の担い手が気軽に地域づくりに参加できる取組の充実が必要である。</p> <p>⑤ 実際に活動しているNPO等民間団体の情報や、地域活動の事例について情報提供していく必要がある。</p> <p>2 たくましく未来を切り拓く「学び」</p> <p>① 青少年の勤労観・職業観の育成や不登校・ひきこもり等の若者の支援に引き続き社会全体で取り組む必要がある。</p> <p>3 個々が輝く「学び」</p> <p>① 県民のニーズを把握し、誰もが学べる環境整備を引続き進めていく必要がある。</p> <p>4 多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」</p> <p>① 学習機会や内容の充実を図るため、公民館等が多様な主体と一層連携・協働することが必要である。</p> <p>② 社会教育主事の配置を促す等、市町村や学校の体制の充実を図る必要がある。</p> <p>③-a 県生涯学習センター 地域人材の育成に向けて実践的な研修の実施、調査・研究及び情報発信の機能の強化が必要である。</p> <p>③-b 県立図書館 県全域の図書館の中核として、市町村立図書館の支援や図書館ネットワークの推進等に引き続き取り組む必要がある。</p>	<p>① 〈絆づくり〉 東日本大震災を機に、地域づくりに貢献したいという気運は広がっており、これを実際の活動に結びつける学習機会の提供が必要である。</p> <p>② 〈地方創生〉 人口減少、人口流出が進む本県において、将来を担う若者が、地域への愛着心を高め、積極的に社会参画し、地域の課題解決や魅力あるまちづくりに主体的に取り組むことが求められている。</p> <p>③ 〈ESD〉 地域の課題を自分の問題ととらえ、互いに学び合い、行動を変えようといったESDの視点を取り入れて、公民館等の事業を運営し、持続的な地域コミュニティの形成を推進する必要がある。</p>			絆づくりと持続可能なコミュニティの形成に向けた学習活動の推進	
		1 ②-a 1 ③-a	① ②	「学びの場」を核とした地域コミュニティの形成の推進	公民館等の社会教育施設が中心となり、住民が学習活動を通じて絆を形成し、地域の課題解決や魅力あるまちづくりにつなげていく取組を推進する。
		1 ①	②	地域への愛着心をはぐくむ取組の推進	大人と子どもが共に自分の地域について学び合い、地域を大切に思う気持ちを育む取組や、若者が地域に関心を持ち、活躍することができる場を提供する取組を推進する。
			② ③	持続可能な社会づくりに向けた取組の推進	持続可能な社会を築ける人を育てる取組として、公民館等におけるESDの視点に立った事業を推進する。
		1 ③-a 1 ③-b		学びの成果を生かして地域社会へ参加・参画する取組の推進	地域住民が参加しやすい環境をつくるため、活動のリーダーとなる人材の育成を進めるとともに、公民館等による情報提供やコーディネート機能の向上を推進する。
		1 ②-b		地域全体で子どもをはぐくむ取組の推進	地域住民の参画による学校教育支援、放課後や土曜日等の活動支援、家庭教育支援を効果的に組み合わせた取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかにはぐくむとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。
		1 ②-c		家庭教育支援の充実	親同士の人間関係づくりや学びの支援・相談、情報提供など、地域コミュニティの中で親の育ちを応援する取組を推進する。
				ライフステージに応じた学習機会の充実	
		2 ① 3 ① 4 ①		ライフステージに応じた学習機会の提供	県民がライフステージに応じた学習機会が得られ、その成果を社会生活等に適切に生かすことができるように、様々な主体と連携・協働して学習機会の充実を進める。また、学校教育、家庭、地域コミュニティ等、地域全体で青少年の勤労観・職業観の育成に取り組む。
		2 ①		社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習支援	「不登校」「ひきこもり」等の課題を抱える子ども・若者の置かれた状況を把握し、多様な主体と連携しつつ、社会参画、社会的・職業的自立を支援する。
				生涯学習の推進を支える基盤の整備	
		4 ②		地域の学びを支える人材の育成の推進	地域住民の主体的な学習や地域づくりを活性化させていくために、活動のリーダーとなる人材の育成・確保や、各市町村における社会教育主事の適正な配置を促進する。
		1 ⑤ 4 ③-a		県生涯学習センターの機能充実	生涯学習推進の拠点として、地域活動のリーダーや市町村人材の育成を支援するとともに、調査研究、情報提供といった機能の強化を図る。
		4 ③-b		県立図書館の機能充実	県全域の図書館の中核として、幅広い資料の収集、レファレンスサービスの充実、市町村立図書館の支援や図書館ネットワークの推進等に取り組む。

第3次岡山県生涯学習推進基本計画【概要版】

◆計画の基本目標

豊かな学びと「地域力」の形成が循環する「生涯学習社会☆おかやま」の実現

個々の県民が、生涯にわたる主体的な学習活動を通じ、それぞれの能力と個性を發揮して社会の中で自己実現を果たすとともに、個々の知識や経験、学習成果を地域社会に還元しながら、「地域力」の高い自立した地域社会の形成に向け、積極的に参加・参画して活動することにより、豊かな学びと「地域力」の形成が循環する「生涯学習社会☆おかやま」の実現を目指します。

◆計画の推進方向 ～重点的に取り組む学び～

☆☆計画の課題☆☆

- 学習活動が個人の教養や趣味の充実にとどまる。
- 社会での自己実現を目指す学習機会が不足
- 学習活動への参加が困難な県民の存在
- 行政が中心となった生涯学習推進の取組

方向性1 人がつながり地域社会に生かす「学び」
 —学びの成果を生かして地域社会へ参加・参画する学習活動の促進—
 地域課題への気付き・関心を高める学び、地域社会における人と人のつながりを構築する学びを支援するとともに、個々の知識や技術、経験等を積極的に社会に還元すること、学んだ成果を実践に生かすことを促進します。

〈方向性1の土台となる「学び」〉

たくましく未来を切り拓く「学び」

—個々の県民が社会人として自立を目指す学習活動の支援—
 若者が、自らのライフデザインを描きながら、社会の中でいきいきと生活することができるよう、社会人として自立する学びを支援するとともに、だれもが生涯にわたって自らの能力を高める学習機会の充実を図ります。

個々が輝く「学び」

—県民だれもがニーズに応じて学ぶことができる取組の充実—
 学びに対して時間的、空間的、環境的に制約がある県民に対しては、学びへのきっかけづくりや参加しやすい学習環境の整備に努め、学びの楽しさとの出会い、学びを通じた人との出会いを促進します。

方向性2 多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」
 —社会を構成する多様な主体との連携・協働による取組の充実—
 社会を構成する多様な主体と行政が連携・協働しながら、県民の生涯にわたる学習活動の充実を支援するとともに、学習成果の活用や「知」の循環を促進し、学びを通じた「地域力」向上への取組の充実を図ります。

《目標の設定と進捗状況の点検・評価》

計画の推進に当たっては、取組の成果を検証しながら、新たな課題にも柔軟に対応しつつ、点検評価を行います。

*****主な指標*****

推進する「学び」	目標とする指標	現況値	目標値
人がつながり地域社会に生かす「学び」	地域の人材を学校で活用している公立小・中学校の割合	—	100%
	家庭教育相談員の養成数	690人	870人
	放課後の子どもの居場所の整備 放課後子ども教室の設置箇所数 放課後児童クラブの設置箇所数	161 338	200 405
たくましく未来を切り拓く「学び」	「子ども参観日」実施事業所数	—	50
	様々な体験学習に参加した青少年の数	121,593人	133,000人
個々が輝く「学び」	県生涯学習大学連携講座数	515	650
	県民が1年間に公立図書館から借りた本の数	1,124万冊	1,300万冊
多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」	企業、団体等への学習機会の提供数	—	100
	市町村において生涯学習推進のための基本計画等を策定している市町村の割合	29.6%	50.0%

◆施策の展開

*****学習活動の支援*****

(★は取組例)

人がつながり地域社会に生かす「学び」

- ①地域に対する理解を深める学習機会の充実**
 - 自分の地域を学習する機会の充実
 - ★公民館におけるふるさと学習の実施 等
 - 「岡山らしさ」を学習する機会の充実
 - ★岡山の歴史や文化、産業等を学ぶ機会の充実 等
- ②地域社会におけるつながりや支え合いを創り出す場・組織の充実**
 - 教育プラットフォームづくりの推進
 - ★放課後や週末の子ども居場所づくり 等
 - 家庭教育の支援
 - ★子育て応援団づくりの支援 等
 - 民間団体等による主体的な取組の促進
 - スポーツを通じた地域社会のつながり構築の支援
 - 若者の自立を支援する場や組織等の充実
 - 公民館等社会教育施設の機能充実の支援
 - コミュニティ組織の活性化
- ③地域社会に参加・参画するプログラムの充実**
 - 「地域デビュー」の支援
 - ★学生ボランティア養成の実施 等
 - 様々な活動を通じた地域社会への参加・参画の促進
 - ★子育て支援を通じた参加・参画の促進
 - ★環境学習等を通じた参加・参画の促進 等

- 文化活動を通じた地域社会への参加・参画の支援
 - ★国民文化祭を契機とした地域社会づくりの推進 等
- E S Dの取組の支援
- 地域社会へ参加・参画することを支える人材育成の推進
 - ★地域リーダー養成の推進
 - ★多文化共生を推進する人材の育成 等
- 参加体験型の学習プログラム実施の支援
- ④生涯学習コーディネーターの育成**
 - 学校と地域社会をつなぐコーディネーターの育成
 - ★学校支援コーディネーターの養成 等
 - 専門性を有する職員等への研修機会の充実
- ⑤学習相談・情報提供機能の充実**
 - 生涯学習情報提供の一層の充実
 - ★公民館相互の情報ネットワークの充実支援 等
 - 情報提供体制の充実
 - 企業等との連携による取組の推進

たくましく未来を切り拓く「学び」

- ①青少年のキャリア形成への支援**
 - 社会全体で勤労観・職業観を育成する取組の充実
 - ★「子ども参観日」の推進
 - ★本県の産業等への理解を深める取組の推進 等
 - 社会性をはぐくむ様々な取組の充実
 - ★青少年教育施設での自然体験活動の充実 等
 - 若者の自立支援
 - ★不登校傾向の児童生徒等の自立支援
 - ★若年無業者等の職業的自立支援 等
 - 障害のある児童生徒へのキャリア教育の充実
- ②キャリアアップ・再チャレンジ等生涯を通じたキャリア形成への支援**
 - 学び続ける環境の整備・充実
 - 女性への支援の充実
 - 高齢者への支援の充実

個々が輝く「学び」

- ①学習機会のユニバーサルデザイン化の推進**
 - アウトリーチ型学習支援の充実
 - ★公民館等を核としたアウトリーチ型プログラム開発の支援 等
 - 情報通信技術等を活用した学習機会・情報提供の充実
- ②多様な個性・能力の伸長の支援**
 - 多様な学習機会の提供、学習活動実践の支援
 - ノーマライゼーションの推進による学習機会の充実
 - スポーツに親しめる環境づくりの推進
 - 健康づくりの推進
 - 文化活動に親しめる環境づくりの推進
 - 個性を伸ばす教育の推進
 - 多様な個性・能力の伸長を実現する基盤づくりの推進

*****学習活動の環境整備*****

多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」

- ①多様な主体との連携・協働による取組の推進**
 - 企業等との連携・協働
 - ★退職後の「地域デビュー」支援の推進
 - ★家庭教育に関する「出前講座」の実施
 - ★「子ども参観日」の推進 等
 - 公益法人やNPO等民間団体との連携・協働
 - ★青少年のキャリア形成を支援するプログラムの開発・実施 等
 - 博物館・美術館等との連携・協働
 - ★博物館・美術館が提供する学習機会等に関する情報提供 等
 - 大学等との連携・協働
 - 専修学校との連携・協働
- ②生涯学習推進体制の整備**
 - 生涯学習推進体制の一層の充実
- ③生涯学習関連施設の機能充実**
 - 県生涯学習センター

- 生涯学習・社会教育研修拠点としての機能の充実
- 生涯学習情報発信体制の整備・充実
- 学習講座等の開設
- 調査・研究機能の充実
- 施設・設備の利用促進
- 学習者・団体相互の交流・連携
- (2) 県立図書館
 - 県民に開かれた図書館の一層の推進
 - 県域の中核となる図書館機能の充実
 - 調査・研究センターとしての機能の充実
 - メディアセンターとしての情報提供機能の充実
 - 資料保存センターとしての機能の充実
- (3) 社会教育施設（公民館、図書館、博物館等）
 - 社会からの要請に応える機能充実の支援
 - 個々の県民の学びを支援する機能充実の支援
 - 専門性を持った職員に対する研修機会の充実

平成 27 年度主要事業

生涯学習課

(単位：千円)

事業名	H27 予算額	H26 予算額	事業概要
社会教育主事等研修会	130	149	県内社会教育主事等を対象に、社会教育の推進に関する研修を実施する。
P T A 指導者研修会	699	716	P T A 指導者を対象に、子どもたちを取り巻く様々な問題をテーマにした研修を実施する。
おかやま子ども応援事業 土曜日教育支援事業	69,389	71,050	<p>地域ぐるみで子どもを健やかに育むため、地域住民の参画による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」を実施する。</p> <p>子ども応援人材バンクの充実と活用促進、「おかやま教育支援活動メニューフェア」開催による企業・団体等と教職員等教育関係者との相互理解促進を図る。</p> <p>子どもたちの土曜日の教育活動充実のため、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等、社会資源を活用し、土曜日の教育支援体制等の構築を図る。</p>
防災キャンプ推進事業	1,000	3,326	各地域において想定される災害や被災時の対応への理解、避難所生活等の体験を行う防災教育プログラムを実施する。
生きる力応援プラン 「夢さがしの旅」推進事業	3,000	3,000	不登校等で悩む子どもや保護者を対象に、N P O 法人等の支援スタッフによる社会教育施設等を活用した体験活動や交流活動などを通じて、子どもたちの自立を支援するとともに学校復帰への足がかりとする。
子育てサポーターリーダー養成講座	6,645	6,068	家庭教育に関する専門知識等の習得を目指した講座を実施する。
すこやか育児テレホン事業			子育てに関する電話・メールによる相談を行う。
子どもほっとライン事業	2,977	2,956	子どもを対象に電話・メールによる悩み等の相談を行う。

親のグッドスタート事業	600	770	就学前児童の保護者が「親育ち応援学習プログラム」を実施することで、子どもの躰や集団生活への動機づけ等について、保護者の意識の向上を図り、また保護者間のつながりをつくる。
【新規】親育ち応援隊！家庭教育支援チーム推進事業	700		子育て支援に関する地域人材（主任児童委員、保健師等）による家庭教育支援チームが、就学前の子どもを持つ家庭を中心に、家庭訪問や相談交流事業等、保護者の課題解決に向けた取組を実施する。（2市町村）
【新規】社会教育関係団体による地域パワーアップ事業	2,000		子どもたちの体験活動の充実や家庭の教育力の向上等、本県の教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が専門性やネットワークを生かして実施する取組を支援する。（10団体）
【新規】若者が主役！地域まるごと活性化事業	1,700		公民館を拠点に、若者が企画・運営する取組を支援し、活躍の場を創出することによって、若者の自己有用感や地域への愛着心を高め、地元定着や持続的な地域活動を推進する。（10か所）
【新規】読書手帳を活用した読書活動推進事業	1,500		読書手帳を作成し、県立図書館やモデル校で利用してもらい、子どもの未読率の減少等を図る。
生涯学習センター事業	11,399	12,173	生涯学習の拠点施設として、指導者やボランティアの養成と研修、学習講座の開設等を行う。 【新規】地域づくり人材養成セミナー 【新規】社会教育に関する調査研究

地域ぐるみで子どもを育てる体制整備

地域が総ぐるみとなって、子どもの学習や体験を充実する取組など、学校と家庭を支援する事業を実施することにより、地域で子どもたちを育てる体制を構築し、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。

おかやま子ども応援事業

放課後子ども教室

- ◆居場所の確保
放課後の学習指導
自然体験活動支援
文化活動支援 等
- ◆中学生や高校生等が参画の活動の場づくりを推進

※92教室→100教室

学校支援地域本部

- ◆授業等の学習支援
部活動指導補助
学校行事支援
学校環境整備
登下校の見守り
地域未来塾(放課後学習支援) 等

※175箇所→195箇所

家庭教育支援

- ◆「親育ち応援学習プログラム」等を活用した学習機会の提供
- ◆地域住民による家庭教育にかかわる情報提供、相談活動等の実施

※11市町→11市町

放課後子ども総合プラン
(一体型、連携型の推進)

放課後児童クラブ
【厚労省】

連携

土曜日教育支援事業

- ◆地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の豊かな社会資源を活用し、体系的・継続的なプログラムの実施
(活動例)

ふるさとをテーマにした活動
科学教室
英会話教室 等

※56教室 →65教室

【新規】親育ち応援隊！家庭教育支援チーム推進事業

- ◆乳幼児期の保護者を対象に、子育ての悩み相談、交流事業等実施 (2市町村)

親のグッドスタート事業

- ◆就学前の保護者全てに「親プロ」を活用した学習機会を提供 (6市町村)

(※H26→H27実施予定数)

地域の応援団

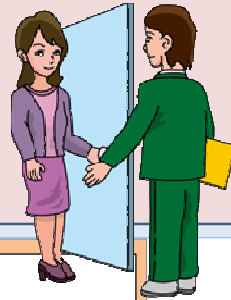
地域住民 大学生 企業 等の参画・協力

親育ち応援隊！家庭教育支援チーム推進事業【新規】

家庭教育支援チーム

＜期待される効果＞

- ・課題を抱える保護者等の不安解消や子どもの変容
- ・家庭同士や、家庭と地域のつながりをつくる。
- ・専門機関への橋渡し
- ・子育てや家庭教育の情報提供



＜構成員＞

主任児童委員、保健師、子育てサポーター、教職員OB、大学(院)生、PTA関係者 等

連携

SSW、SC、専門機関 等

＜主な活動＞

- ・家庭訪問 ・幼稚園・保育所訪問
- ・児童クラブ訪問 ・親子交流事業
- ・子育ての悩み相談 等

即効型支援

家庭

乳児期

幼児期

学童期

思春期

＜対象＞

- ・課題を抱える保護者
- ・仕事で忙しく、学習機会等に参加できない保護者 等



身近な地域住民による、子どもの誕生から切れ目のない家庭教育支援を推進する。

未然防止

親育ち応援学習プログラムを活用した学習機会の提供



親のグッドスタート事業

全ての保護者を対象として実施

3歳児健診、入園説明会、保育所保護者会、就学前健診、入学説明会等の機会を活用し、親育ち応援学習プログラムを活用した学習機会を提供

【親育ち応援学習プログラム】

子育てや家庭教育の課題を保護者同士で学び合う参加体験型プログラム

＜対象＞

親になる若い世代、子育て真っ最中の保護者、孫育て世代

＜活用場面＞

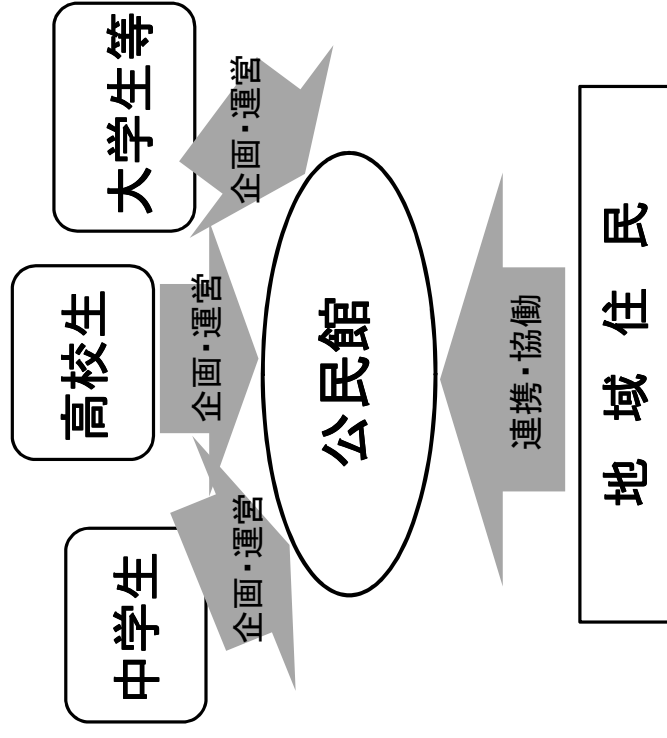
- ・保護者懇談会 ・学年PTA研修 ・子育てサロン
- ・民間のイベント 等

若者が主役！地域まるごと活性化事業

【趣旨】

公民館を拠点に中高生等の活躍の場を創出することにより、自己有用感や地域への愛着心を高め、地元定着や持続的な地域活動として地域活性化を推進する。

地域課題の解決や魅力あるまちづくりなど、若者が企画・運営する、公民館を活用した取組を支援する。



～活動例～

- ・まちづくり
清掃活動の実施
- ・地域活性化
地域の祭への参画
- ・学力向上
寺子屋教室の開催
- ・地域への愛着心
観光ボランティアへの参加
- ・共生社会の実現
障害のある人との交流事業

～期待される効果～

- ★活躍の場の創出
- ★自己有用感の向上
- ★地域への愛着心
- ★共生社会の実現



(通学合宿で一緒に宿題をしている様子)

持続的なまちづくりの実現

平成27年度「若者が主役！地域まるごと活性化事業」の概要

1 事業内容

公民館を拠点に中高生等の活躍の場を創出することにより、自己有用感や地域への愛着心を高め、地元定着や持続的な地域活動として地域活性化を推進することを目的に、地域課題の解決や魅力あるまちづくりなど、若者が企画・運営する、公民館を活用した取組みについて企画提案を募集し、提案内容の実施を委託します。

2 応募の資格

- (1) 公民館(未設定の地域の置いては教育委員会)を核とした実行委員会とします。
- (2) 実行委員会には、中学生、高校生、高校生及び勤労青年等の若者(以下「中高生等の若者」という。)を含むこととします。

3 募集する事業

地域課題の解決や魅力あるまちづくりなど、若者が企画・運営する、公民館を活用した事業に対して、企画提案を募集し、以下の条件を満たす優れた提案に対して提案内容の実施を委託します。また、応募は1団体につき1提案までとします。

- (1) 若者ならではの獨創性、先進性のある自発的な企画による事業であること
- (2) 地域の課題解決や魅力あるまちづくりなどに相当の効果があること
- (3) ESDの視点に立ち、将来に向けた事業展開が期待できること

4 委託件数及び委託額

- (1) 委託件数 10件程度
- (2) 委託額 30万円以内

※ 応募を希望される方は、県生涯学習課までご相談下さい。

※ 詳細は、岡山県教育庁生涯学習課のホームページから確認できます。

【新規】地域づくり人材養成セミナー

1 事業目的

県内市町村の生涯学習グループリーダーやリーダーを志す者、学校・行政担当者、大学生、高校生を対象に、地域活動の中核的な役割を担い、学習支援体制を推進していこうとする人材の育成を図る。

2 事業内容

1 生涯学習プランナー養成コース（7回）

新たな指導者の発掘と育成、仲間作りの促進やネットワークの形成・強化、活動の活性化を目的として、理論学習や活動実践等の研修を通して、地域づくりに取り組む活動者の育成を図る。

(1)会場 岡山県生涯学習センター他

(2)期日 平成27年6月～11月〔講義・演習〕

(3)対象及び定員 対象：生涯学習活動グループリーダーやリーダーを志す者
教育支援活動コーディネーター、社会教育関係団体関係者
NPO・ボランティア関係者、学校・行政関係者
定員：30人

2 未来を担う若人育成コース（8回）

青少年が自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的として、地域活動・ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得させるとともに、演習等をとおして学んだものを生かして、それぞれの地域や学校で活躍する人材を養成する。

(1)会場 岡山県生涯学習センター他

(2)期日 平成27年5月～11月〔講義・演習〕

(3)対象及び定員 対象：県内大学生・高校生
定員：30人

3 公開講座（うち2回・各コースが受講）

県全域に渡った潜在的ニーズに対応するため公開形式とし、広く参加を呼びかける。
また、講座生や他のセンター事業関係者に一般参加者も交え、参加者のネットワークの拡大、強化と資質の向上を図る。

(1)会場 岡山県生涯学習センター

(2)期日 平成27年6月・11月

地域づくり人材養成セミナー

